

**27年度取組予定の事業概要**  
【施策体系】

- 短期：2～3年で実現（平成29年度までに実現）
- 中期：4～5年で実現（平成31年度までに実現）
- 長期：6～10年で実現（平成36年度までに実現）

基本方針	施策	実施時期		
(1) まちづくりの軸となる利便性の高い公共交通ネットワークを形成する	① 幹線・支線ネットワークの構築	i) バス路線の「幹線（基幹的な路線）」「支線（補完的な路線）」の仕分け・サービス基準設定・再編実施計画作成作業に伴い設定を行う	短期	
	② 基幹的な路線の利便性改善	i) 基幹的な路線でのダイヤ改善・再編実施計画作成作業	短～中期	
	③ 市民ニーズに対応した補完的な路線の見直し	i) 補完系統の輸送サービスの改善・再編実施計画作成作業に伴い具体的方針を示す	短～中期	
		ii) 交通不便地区対策の充実（住宅地等）	再編実施計画作成作業	短～中期
		iii) 交通不便地区対策の充実（郊外）		短～中期
④ 交通結節点の強化とそれを軸としたネットワーク形成	i) 交通結節点の整備・形成	長期		
(2) 複数モードの連携により公共交通ネットワーク全体の利便性を確保する	① 鉄道―バス、鉄道―鉄道の連携による利便性向上	i) 鉄道とバスの乗継や競合区間の利用者選択の拡大・再編実施計画作成作業	短～中期	
		ii) 鉄道―鉄道（JRとMR）の連携による利用促進① ・JRの28年度のデスティネーションキャンペーン（長崎県）に合わせた検討が事業者間で想定されるため、状況について情報共有をお願いすると共に、その状況によって協議会として関わられることは何か検討を行う。	短～中期	
		iii) 鉄道―鉄道（JRとMR）の連携による利用促進② ・日常的な乗り入れ可能性の検討については平成28年度以降、需要の状況をみながら必要に応じて事業者間で行われる予定。	中～長期	
		iv) 佐世保駅前における乗換・乗継利便性の向上 ・佐世保駅のJR改札を出てからバス乗り場やフェリー乗り場への案内矢印等の設置を検討	短～長期	
	② 多様な交通モードとの連携	i) パークアンドライド施設や駐輪施設等の充実・活用 ・黒島での電動レンタサイクル設置（観光部署）及びMR相浦駅駐車場の利活用について検討	短～中期	
(3) 利便性を維持した持続可能なバス事業を実現する	① 需要と供給に見合ったサービスの適正化	i) 需要と供給に見合ったサービスの適正化 ・再編実施計画作成に伴いダイヤ毎の需要と供給の状況を把握するほか、運賃についても検討を行う。	短～中期	
	② 競合区間の見直し	i) 中心市街地に乗り入れる各路線の見直しを通じた適正化 ii) 相浦方面の路線の見直し iii) 黒髪・もみじが丘、大宮方面の路線の見直し iv) その他路線の見直し	再編実施計画作成作業 短期	
	③ 車両運行効率化のための車庫等の既存資源の利活用	i) 事業者間の営業所機能等の融通	再編実施計画作成に伴い検討	短期
		ii) 新たな車両転回・乗務員交代等の拠点の設置		中期
	④ 共通定期券・事業者間の乗継割引の導入	i) 共通定期券・事業者間の乗継割引の導入検討	短～中期	
⑤ 労働力不足への対応、労働環境の改善	i) 労働力不足への対応、労働環境の改善 ・再編実施計画の推進の結果、効果が期待される	短～中期		
(4) 公共交通の利用促進・需要創造を推進する	① 利用者・来訪者に対するわかりやすい情報提供の充実	i) 来訪者に対する情報提供の充実 ・転入者向けに支所管内別の公共交通案内情報を作成し、玄関案内や支所で配布できないか検討を行う。また、ハウステンボス・森きらら・海きららのパンフレットをJR佐世保駅にコンベンション協会が設置されているが、公共交通情報がないため情報を付加して頂けないか、或いは別紙で作成できないか検討を行う。	短期	
		ii) 地域住民・利用者等に対する情報提供・意識啓発の推進 ・公共交通ふれあいフェスタを市主催で開催していたが協議会事業として行い協議会の周知や意識啓発の推進に取り組む。	短期	
		iii) 佐世保駅前における乗換・乗継利便性の向上（再掲）	短～長期	
		iv) バスロケーションシステムの導入検討 ・平成30年度以降に取り組み予定	中～長期	
	② すべての人が移動しやすい環境整備	i) 低床車両の導入促進 ・西肥自動車及び交通局ともに27年度は6台ずつ導入予定	短～中期	
		ii) バス停の乗り降りしやすい環境の整備 ・バス事業者からの情報によりバスの乗降に支障のある歩道や違法駐車が多い箇所を抽出した一覧表を道路管理者や警察署へ情報提供を行う。	短～中期	
	③ 多様な交通モードとの連携	i) パークアンドライド施設や駐輪施設の充実・活用（再掲）	短～中期	
	④ ICカードの機能拡大	i) ICカードの更新を踏まえた機能拡大の検討 ・平成28年度からバス事業者で組織するスマートカード委員会での協議をみながら検討を行う。	長期	
	⑤ 地域が連携した各種利用促進策の企画・開発	i) 鉄道駅や停留所等の有効活用 ・活用が可能な駅や停留所について事業者から情報提供頂き活用策を具体的に検討する。	短～中期	
		ii) 観光・商業施策等との連携 ・再編実施計画作成作業に伴う調査事業の中で有効な利用促進策・活用策について調査・検討・提案する。	短～中期	
iii) 健康・福祉施策等との連携 ・高齢者の免許証返納によるタクシー料金割引制度の広報を行う。		短～中期		
⑥ ホスピタリティーの充実	i) 外国人来訪者等への対応 ・外国語標記の必要箇所の抽出を行い、取組可能な箇所から順次、取組を推進していく。	短～中期		

**\*再編実施計画作成作業（調査事業）により推進する施策16、個別に推進する施策10、次年度以降に推進する施策4 計30施策**